



調和
——
ミュシャがめざした作品と世界を探る

調和
——
ミュシャがめざした作品と世界を探る

企画展

企画展

Seen in a Dream: Mucha's
Harmony
ミュシャが夢見たハーモニー

Seen in a Dream: Mucha's
Harmony
ミュシャが夢見たハーモニー

開館時間：9:30-17:15(入館は16:30まで)

休館日：月曜日、年末年始(12/29～1/5)、休日の翌日(1/13, 2/24) ※ただし1/12, 2/9・12・23は開館

観覧料金：一般 510円 / 高校・大学生 310円 / 小・中学生 100円

【主催】公益財団法人堺市文化振興財団 / 堺 アルフォンス・ミュシャ館

【後援】在堺チェコ共和国名誉領事館 【協力】OGATAコレクション

※小学生未満、堺市内にお住まいの満65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方と介助の方は無料。
※20人以上の団体は割引料金適用となります。事前にお問い合わせください。 ※その他各種提携割引制度があります。

2025 12/6 (Sat) → 2026 3/29 (Sun)

堺 アルフォンス・ミュシャ館

開館時間：9:30-17:15(入館は16:30まで)

休館日：月曜日、年末年始(12/29～1/5)、休日の翌日(1/13, 2/24) ※ただし1/12, 2/9・12・23は開館

観覧料金：一般 510円 / 高校・大学生 310円 / 小・中学生 100円

【主催】公益財団法人堺市文化振興財団 / 堺 アルフォンス・ミュシャ館

【後援】在堺チェコ共和国名誉領事館 【協力】OGATAコレクション

※小学生未満、堺市内にお住まいの満65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方と介助の方は無料。
※20人以上の団体は割引料金適用となります。事前にお問い合わせください。 ※その他各種提携割引制度があります。

2025 12/6 (Sat) → 2026 3/29 (Sun)

堺 アルフォンス・ミュシャ館

「我々は強さを持つ一方で、弱さもある。富と貧困、生と死、喜びと悲しみ——これら全てが組み合わせられて偉大な調和をなす。」
——Alphonse Maria Mucha
"German Theatre's Art Decorations,"
New York Daily Tribune, Saturday, May 9, 1908, p.7

第1章 円のモチーフ Circle motifs

女性を女神のように見せる円環のモチーフ。ポスターや装飾パネルで頻繁に用いられたこのモチーフは、後にスラヴ民族の連帯を象徴するようになります。画業初期のパリから後の時代へと変遷するモチーフの使い方に注目します。



③

第2章 めざす場所 - 巨大な人物と 向かい合う人々 Place to aspire to : A giant figure and the people looking up to him.

幼い頃から教会やその美術に親しんでいたミュシャ。彼は生涯に渡ってキリスト教に関わる作品を手がけました。その中でよく描かれた「巨大な人物と向かい合う人々」の構図を取り入れた作品や、キリスト教に関わる作品の数々をご紹介します。



②

第3章 色彩と構図の調和 Balance of color and composition

近代化した19世紀ヨーロッパでは政治や科学、芸術など様々な分野で「調和」の概念が注目されました。それは同時代の画家たちの作品にも反映されました。ミュシャのデザイン理論を元に、彼がめざした「調和」のとれた作品の数々をご紹介します。



④

第4章 ハーモニー Harmony

《ハーモニー》と本作が展示される予定だったニューヨークの劇場に関連する作品をご紹介します。これまでの章で見た作品を元に本作のモチーフや構図、色彩などに注目し、ミュシャが本作に込めた想いを探ります。



⑤

第5章 みんなの、そして スラヴのために For the Slavic people and for everyone

ミュシャはパリ時代にデザイナーとして活躍している頃から、広く民衆のために芸術で貢献することを望んでいました。後半生の祖国チェコとスラヴ民族のために制作した作品を中心に、彼が人々の幸福を願って描いた作品をふりかえります。



①

音、色、人と自然…世の中には様々な「調和」があり、これらは人々に心地よさを与え、より良い世界を実現するための概念でもあります。華やかで優雅な女性像のポスターを描く画家として有名なミュシャですが、生涯に渡って人々の幸福を願って数多くの作品を描きました。それは祖国チェコとスラヴ民族のために描いた晩年の大作《スラヴ叙事詩》にとどまりません。経済的な成功だけに満足しなかったミュシャは、たとえ商業的な作品であっても広く民衆が楽しめる芸術をめざしました。本展は当館を代表する大型油彩画《ハーモニー》(縦横約1.5m×4.5m)を中心に、コレクションから厳選した数々の作品に共通するモチーフや構図を読み解きながら、彼が作品を通じて人々に伝えようとした想いを探ります。「調和」をテーマとしたミュシャの芸術家としての新しい一面をご紹介します。

展覧会の 見どころ

01 ミュシャの大型油彩画 《ハーモニー》にスポットをあてる 初めて&当館だけの展覧会

02 当館でしか見られない作品を含む、 多様なジャンルのミュシャ作品を紹介

03 ポスターや《スラヴ叙事詩》 にとどまらない画家ミュシャの 新たな一面を再発見できる

関連イベント

※ 本展会期中の観覧券(半券可)の提示が必要です。

01 学芸員による スライドトーク

展覧会の見どころをスライドで解説します。

日時	12月27日(土)、1月17日(土)、3月7日(土) 14:00～(開場13:45)
定員	50名(申込不要、当日先着順)
参加費	無料

02 ミュシャの デザインカードを作ろう

ミュシャのモチーフシールを貼ってオリジナルポストカードを作ります。



日時	12月13日(土)、1月11日(日)、2月23日(月・祝) 各日11:00～15:00 (随時ご案内、お待ち頂く場合がございます)
参加費	300円(現金のみ)

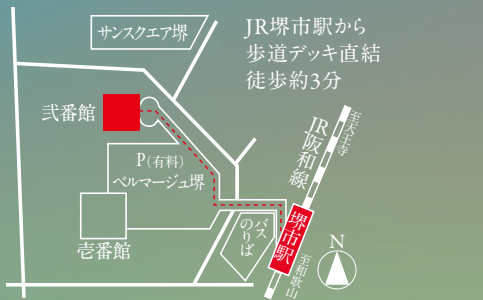
申込不要、小学3年生未満は要保護者同伴

※イベント詳細については当館HPをご確認ください。

開館時間: 9:30-17:15(入館は16:30まで)
休館日: 月曜日、年末年始(12/29～1/5)、
休日の翌日(1/13, 2/24)
※ただし1/12, 2/9・12・23は開館
観覧料金: 一般 510円 / 高校・大学生 310円 /
小・中学生 100円

[主催] 公益財団法人堺市文化振興財団 / 堺 アルフォンス・ミュシャ館
[後援] 在堺チェコ共和国名誉領事館
[協力] OGATAコレクション

※小学生未満、堺市内にお住まいの満65歳以上の方、
障害者手帳をお持ちの方と介助の方は無料。
※20人以上の団体は割引料金適用となります。
※事前にお問い合わせください。
※その他各種提携割引制度があります。



JR大阪駅から約25分 JR天王寺駅から約10分
JR阪和線 堺市駅下車徒歩約3分

堺 アルフォンス・ミュシャ館

[HP] <https://muchasakai-bunshin.com>
[TEL] 072-222-5533 [FAX] 072-222-6833
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200
ベルマージュ堺式番館